

まちのうごき		
面積	7.67㎢	
(12月1日現在)	(11月中)	
世帯数	18,363世帯	生まれた人 46人
人口	53,286人	亡くなった人 20人
男	26,165人	転入した人 260人
女	27,121人	転出した人 228人

広報 向日市

No.589

平成7年(1995)1月1日

◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)
◎編集 秘書広報課 ◎電話 075(931)1111



迎春

二十一世紀へのまちづくり

向日市民温水プール

心のふれあう魅力あるふるさと向日市



市民の皆さん、あけましておめでとうございませう。
一九九五年の輝かしい新春をご家族おそろいで健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。
昨年は長引く景気低迷の影響を受け、本市の財政環境は厳しいものがありました。私にとりまして、市長五期目の任期しめくりの年にあたることから、財源の確保に努め、公約した政策の実現に向け、全力を傾注してまいりました。

とりわけ、市民待望の「福祉会館」の開館や「市民温水プール」の完成をはじめ、東院の道など生活道路の改良、本市独自の総合雨水排除事業の着手、地下水の保全と府営水道による恒久的な水資源確保への対応、公共下水道事業の促進、緑化推進など、都市の環境を整えるための諸施策を推進いたしました。

また、急速に進む高齢化社会に対応し、在宅介護支援センターの設置や、第2老人デイサービスセンターの開所、特別養護老人ホーム設置に向けての取り組みを進めるとともに、高齢者、障害者、児童などへのきめ細かな福祉施策の充実を図りました。

さらに、文化施設や教育環境の充実に努め、中学校プールの設置、学校グラウンドへの夜間照明装置の設置などスポーツ環境の整備や生涯スポーツの推進を図るとともに、鶏冠井コミュニティセンターの建設や消防団分団防災センターの整備、地場産業の育成、環境対策などに力を注ぎました。

そのほか、国際交流では米国サラトガ市長を迎えての姉妹都市盟約締結十周年記念事業の実施や、中国杭州市との友好交流の促進を図るとともに、平和への取り組みや女性施策を推進することができました。

これひとえに、市民の皆さんの温かいご理解とご協力の賜であると、深く感謝を申し上げます。

さて、今日、我が国をとりまく環境は、あらゆる分野で、変革、変化の時期を迎えております。

特に、国内の経済情勢は、ようやく景気も回復基調にあり、新しい経済・産業システムの構築が求められています。

また、地方分権が時代の大きな流れとなっている現在、自治体においては、地域住民と一体となって、新しい時代にふさわしい地域の特性を生かしたまちづくりを推し進めていかなければならないと存じます。

こうした中で、本市においても、市民ニーズを的確に把握し、個性豊かな「心のふれあう魅力あるふるさとづくり」を期すべきであると考えております。

特に、快適な住環境をつくりだすため、緑の保全など自然とのふれあいを重視し、環境の質を高めるまちづくりを推進しなければならぬと存じます。

また、誰もが健康で生きがいを持ち、安心して暮らせるまちとするため、福祉会館を拠点とした福祉情報ネットワークの整備など、高齢化社会に対応できる福祉施策の一層の充実を図る必要があります。

さらには、心の豊かさを育むまちとするため、歴史と伝統に培われた向日市の創生を期し文化施設の推進を図るとともに、生涯教育や平和施策等の拡充に努めなければなりません。

二十一世紀を間近に控え、これらの課題に対処し、市民の暮らしを守り、次代の子供たちに夢と希望を託せる「魅力あるまちづくり」を進める必要があります。

ふるさとを住環境のすばらしい、心のふれあうまちに築き上げるため、市民の皆さんの一層のご支援をお願い申し上げます。本年も、市民の皆さんにとりまして幸多い年となりますよう祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。

向日市長 民秋徳夫